

令和7年度第2回 高津区地域包括支援センター運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和8年2月25日（水） 午後1時00分から午後2時15分まで
- 2 場 所 川崎市生活文化会館 てくのかわさき 4階 会議室
- 3 出席者
 - (1) 委 員
木下委員、亀井委員、八木委員、瀬戸口委員、片瀬委員、下平委員、岡村委員、島崎委員
(8名出席)
 - (2) 事務局
地域みまもり支援センター所長
地域みまもり支援センター副所長
地域支援課 2名
地域ケア推進課 2名
高齢・障害課 4名
 - (3) 地域包括支援センター：1名（ひさすえ地域包括支援センター）
- 4 欠席者
なし
- 5 議 題
 - (1) 高津区地域包括支援センターの運営状況について
(取組報告：ひさすえ地域包括支援センター)
 - (2) 令和7年度 区課題整理シートについて
- 6 審議経過
 - 開 会
 - (1) 開会あいさつ（地域みまもり支援センター所長）
 - (2) 新規就任委員挨拶
 - (3) 運営協議会委員の出席確認及び紹介
 - (4) 事務局紹介
 - (5) 会議の公開について
「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第3条」に基づき公開
会議録は要約方式で作成する。会議録の確認は後日議事録を送付し、各委員により行う
傍聴者 0名
 - (6) 副会長の選出及び挨拶

(1) 高津区地域包括支援センターの運営状況について

牛若係長：(議題(1)について「資料3」により資料が作られた経緯や背景を説明)

：令和7年度の地域包括支援センター運営状況確認シートに記載している“区地域包括支援センター運営協議会からの意見等”の欄についてですが、こちらは事務局のほうで仮に記入しているものです。今日は皆さんからご意見をいただき、追加や修正があれば反映していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(議題(1)について「資料5」により令和8年度の川崎市地域包括支援センター運営方針について説明)

奥村職員：(議題(1)について「資料3」により各地域包括支援センターの特徴的な取り組み報告)

奥村職員：わらく地域包括支援センターについて説明

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか

委員：特になし

木下会長：事務局案を採用

奥村職員：すえなが地域包括支援センターについて説明

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等がある

片瀬委員：権利擁護や地域活動の数値が特に多く、ネットワーク構築にしっかり取り組んでいることが伝わった。

木下会長：運営協議会からの意見等の欄に反映することとする

奥村職員：陽だまりの園地域包括支援センターについて説明

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか

下平委員：地域ケア会議が令和7年度ゼロになっている理由は何か

牛若係長：9月までの途中集計のため。年度後半に実施されていると思われるため次期シートには反映される見込み

下平委員：ケアマネジャーとの関係づくりはどこで読み取れるか

牛若係長：年度当初の目標設定に記載している。裏付ける数値が明確に出しづらいが、ヒアリングで確認している。

木下会長：シート内容の確認であったため、事務局案をそのまま採用

奥村職員：溝口地域包括支援センターについて説明

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか

委員：特になし

木下会長：事務局案を採用

奥村職員：樹の丘地域包括支援センターについて説明

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか

委員：特になし

木下会長：事務局案を採用

奥村職員：リ・ケア向ヶ丘地域包括支援センターについて説明

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか

下平委員：季刊誌をお店に置いてもらう取り組みが独自のものなら、意見欄に入れてほしい

木下会長：運営協議会からの意見等の欄に反映することとする

奥村職員：ひさすえ地域包括支援センターについて説明

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか

委員：特になし

木下会長：事務局案を採用

奥村職員：いただいた意見は御意見として反映する

木下会長：では、ひさすえ地域包括支援センターより取組報告をお願いします。

齋藤センター長：（「資料4」により説明）

宮前区で以前からやっている健康測定会を、高津区で初めて実施した。

スタッフは3カ所の事業所と包括を合わせて10～15名ほどで運営した。

チラシを関係機関にポスティングして周知したところ、41名の参加があった。普段やっている認知症の勉強会は十数名集まるのがせいぜいだが、今回は各測定場所に待ちが出るほどの盛況だった。

協力機関の薬局が独自に健康測定機械を持ってきて、健康年齢測定、骨密度測定、脂質チェック、メジチェックを実施してくれた。包括では握力測定を担当した。

毎年測定結果を持参する参加者もいて、“去年より良くなった・悪くなった”“体力が落ちてきた”といった一年ごとの変化が分かるのも好評だった。

全体として盛大に盛り上がった。

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか

木下会長：毎年記録を持ち寄るのは素晴らしいと思う。

参加しているのは毎回“個人”なのか、それとも事業所や施設などからの参加者もいるのか。

齋藤センター長：地域からの個人参加。地域は市営住宅・県営住宅からの参加が多く、ポスティングして周知した。

瀬戸口委員：40人超は本当に大成功だと思う。会場は道も細くて車も入れない場所であるため、40人の高齢者が集まると、終了後の帰りの足に問題が出たと思う。困ることはなかったか。

齋藤センター長：ほとんどの方は徒歩で来場していた。特に困ることはなかった。

（2）令和7年度 区課題整理シートについて

矢嶋主任：（議題（2）について「資料4」により説明）

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等があるか。

委 員：特になし

（3）報告

奥村職員：（高津区在宅医療シンポジウムの実施結果について「資料7」により説明）

（4）その他

高橋主任：（地域ケア推進課からの配布資料 3月15日笑高津区地域包括ケアシステム講演会（キラリ事業）×地域支え合い人財づくり講演会「地域活動のはじめの一步応援プログラム」について説明。「地域活動に参加するきっかけ」や「活動を続ける上での工夫」などについて伺う内容となっている。高津区内の民生委員・経験者の事例紹介も予定している。皆さまの周りで興味のある方がいたら案内してほしい。

牛若係長：次回の運営協議会について、令和8年度に2回開催を予定している。第1回の運営協議会を令和8年9月から10月頃に開催する予定。引続きご協力をお願いしたい。

閉会

閉会あいさつ（地域みまもり支援センター副所長）

宮川課長：これを持ちまして令和7年度第2回地域包括支援センター運営協議会を閉会します。